

vol.45-10 (通算 511号)

2016年1月号

# やどかり

2016年1月15日発行  
(毎月1回15日発行)1987年12月19日第三種郵便物認可  
発行人 公益社団法人やどかりの里  
代表者 土橋 敏孝  
〒337-0043  
さいたま市見沼区中川 562

TEL 048-686-0494

FAX 048-686-9812

定価 50円(含会費)

2016年11月12日～13日 第20回日本健康福祉政策学会学術大会開催

## 大会テーマ

### いのちの種を明日につなぐ

#### ほっこりと共に育つ

日本健康福祉政策学会(以下、政策学会)という小さな学会がある。発足は1997年、やどかりの里もさまざまな形で関わり、実践報告の貴重な場でもあり、事務局も担っている。専門職によるさまざまな学会があるが、この学会は研究者と実践現場の間にある隔たりを埋め、住民とともに現場にある知恵を国や自治体の政策に反映させていくことを目指してきた。名称によって堅苦しいイメージがあるが、年1回開催される政策学会学術大会はざっくばらんな議論の場であり、交流の場でもある。この学会の第5回学術大会をやどかりの里が中心になって開催したのが2001年、15年ぶりにやどかりの里が学術大会事務局担うことになり、11月12日、13日に第20回学術大会を開催する。会場は大宮ソニックシティ市民ホールや会議室を予定している。

やどかり研究所の運営委員会を中心に、メンバー交流会議、浜砂会(家族会)、豊の会(職員の自主的な学習会)、学会の関東近県の理事などで実行委員会を組織し、準備が始まった。

これまで3回開催された実行委員会では、政策学会が目指してきたことやこれまでの学術大会のイメージなどを共有し合ってきた。そして、決定されたのが大会テーマだ。やどかりの里が新たに取り組み始めた自然栽培(無農薬・無肥料・無除草剤)の種どりの話から、収量を上げるための一代限りの種ではなく、次の栽培につながっていく「種」の大切さを学び、明日につなぐいのちの種について考えていこうという思いが込められている。

そして、社会全体に目を向けると、財政難を理

由に社会保障の後退が著しく、競争社会の中で、自助・共助が強いられていく現状もある。そうした中でも、人と人とのつながりを多様に育みつつ、いのちの大切さを核に、育ち合っていこうという思いがサブテーマに込められている。

政策学会では、2015年10月に「福幸志縁ふくしまセミナー」として、原発被害を受けた福島相双地域をめぐり、現地の皆さんのお話を伺った。間もなく、3.11東日本大震災から5年が経過しようとしている中で、災害直後とはまた違った困難を抱える姿を目の当たりにしてきた。そして、今福島が抱える困難は、決して福島だけの問題ではなく、この時代を生きる私たちが向き合わなくてはならないことだとも確認してきた。このふくしまセミナーからのバトンをどう次の学術大会につなげていくのかも大切だ。その一歩として、2月27日(土)に開催されるやどかり研究所報告・交流集会の中で、特別企画「ふくしまの今を見つめ

自らのこととして考える」が予定されている。相馬市・南相馬市などで活動するケアセンターなごみ南相馬事務所で働く保健師伏見香代さんにお話をいただきつつ、ふくしまから何を学び、私たちの取り組むべきことを考えていこうと企画中だ。

政策学会は、やどかりの里にとって視野を広げる機会であり、障害福祉の領域を越えたつながりづくりの場でもあった。20回という節目に、やどかりの里らしい学術大会を準備し、困難なことが多い中で、新たな希望やめざすべき方向性を描き出す機会にしていきたい。